

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年 7月 25 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
近江八幡市上田町84-8

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
シマダヤ西日本株式会社 滋賀工場
代表取締役 平野 亨

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	シマダヤ西日本株式会社 滋賀工場 代表取締役 平野 亨
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県近江八幡市上田町84-8

1 事業者の概要

事業所の名称	シマダヤ西日本株式会社 滋賀工場					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市上田町84-8					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	0	9	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 めん類製造業
事業の概要	ミキシング→粗製→複合→圧延→切出し→茹で上げ→冷却→包装→加熱殺菌→2次包装					
従業員の数	55	人	操業時間	20	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備		台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	50	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちは、地域に根ざした環境保全活動を通じて、CO₂ネットゼロ社会づくりに寄与していきます。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を低減する仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組めます。

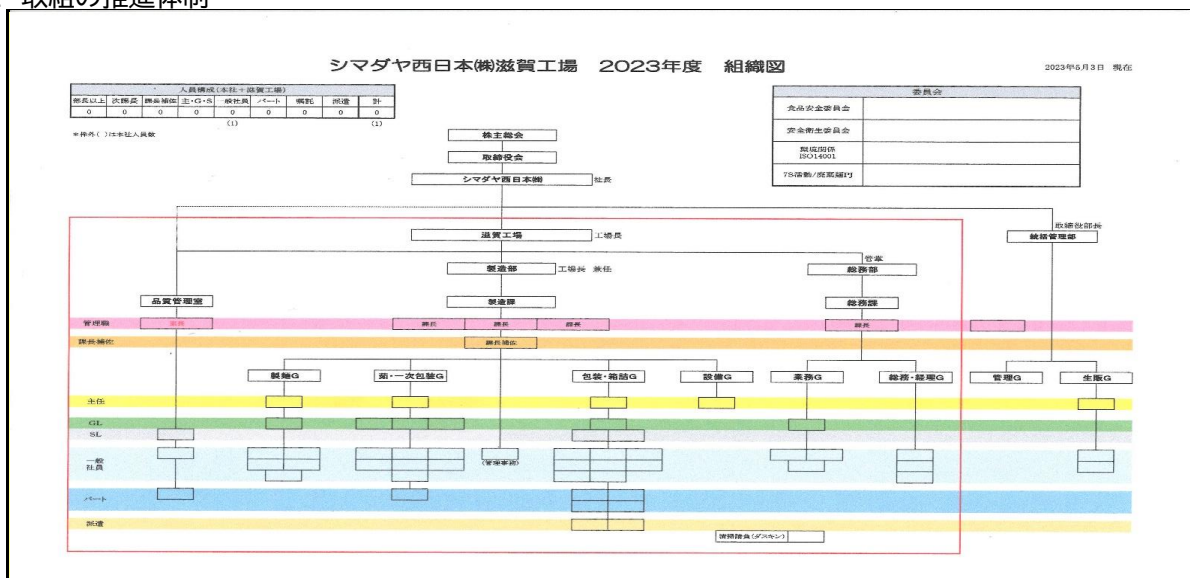
- ① 電気使用量の削減に努めます。
- ② 都市ガス使用量の削減に取り組めます。
- ③ 廃棄物の発生量の削減に取り組めます。

2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。

3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。

4. この方針を維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

・計画通り進捗しており、終了した計画については、CO₂削減に貢献できています。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	空調冷凍機更新	2019年～2024年	2022年度実施完了
2	設備導入	廃熱回収装置導入	2021年～2027年	計画実施中
3	設備導入	ヒートポンプ導入	2021年～2024年	効果検証実施も効果が見込めないため見
4	設備導入	蒸気配管修繕工事	2022年～2024年	計画実施中
5	設備導入	冷蔵庫空調機更新(CO ₂ 冷媒)	2023年～2027年	計画実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)の取組等により、2017年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。 温室効果ガスの総排出量 CO ₂ への換算地において、2017年度比2.5%の削減。	一部完了の項目もあり、CO ₂ に対する効果は、多少なりと出ています。しかし、設備投資分の効果が得られない状況です。計画中の取り組み内容についても、設備投資に見合う効果が得られるか、課題が残るところです。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2022)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	KL	1,686	1,534			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,911	2,532			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,911	2,532			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0				
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場屋根への太陽光発電システム設置	2023年~2027年	計画実施中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	計画段階の為、発電量等についても不明です。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					